

時間の段取りができる

人材になりたい

国際福祉開発学部

国際福祉開発学科

2023年3月卒業

 ハンス ニコ サブトラ

内定先 | 中部商工業協同組合

業界 | 就労外国人のサポート



勝野さん

ハンスさん

## ■大学時代はどう過ごしていましたか？

大学に入学したばかりの頃、日本語を上手く話せませんでした。そのため日本人と留学生の間に「日本語」の壁を感じました。それから、できるだけ日本人と一緒に授業を受け、日本語でコミュニケーションを取ることを意識しました。授業で日本人と会話を重ねることで、自然と日本語能力はアップしていきました。また、アルバイトにも力を入れました。今の就職先である中部商工業協同組合で、通訳を担当しました。インドネシア語のスタッフは私だけで、大きな責任を感じましたが、「やりがい」もありました。

## ■就職活動はどのように進めていましたか？

### 具体的にどのような業界や職種、何社の選考を受けましたか？

4年生になってから就職活動を始めました。具体的にはアルバイトの経験がある会社や関連した職種・会社のホームページを見て情報を集めました。その中で、仕事をするためには、語学力はもちろん、コミュニケーション能力や日本の企業文化を知ることが大切だと思い、アルバイトで仕事の経験値を上げていきました。内定は2社からいただきました。最終的に経験が活かせるのと、仕事のイメージができ、安心と感じられた結果、今の会社に就職を決めました。

## ■就職活動で大変だったことは何ですか？

履歴書の作成が大変でした。話し言葉でなく、丁寧な言葉で自分をアピールする文章を書く必要があり、インターネットで履歴書の例文を調べたりして、参考にしました。また、就職活動をする上で、車の運転免許があると有利と聞き、就職活動と並行して自動車運転免許を取得しました。大学での勉強、アルバイト、就職活動に自動車学校とやるのがいっぱい、スケジュールの管理も苦労しました。

## ■後輩へのメッセージ

大学時代にアルバイトやインターシップで経験を積んでみてください。現場で怒られた経験が自分を成長させてくれたからです。でも、それは「怒ってもらえる」というやさしさに気がつけたからで、相手としっかりコミュニケーションを取ることで、厳しい言葉の中にある「日本社会で活躍してほしい」という気持ちがわかりました。そういった信頼や人間関係は自分の人生を充実させてくれるので、たくさんの人や社会と繋がりをもってほしいです。社会人になったら、コミュニケーションを取るうえでより高い日本語レベルが必要になります。日本語能力試験の勉強を含め、大学の勉強を頑張ってください。

【採用情報】 募集職種 | 通訳（インドネシア語・英語） 仕事内容 | 就労外国人のサポート・

資料の翻訳・通訳

【選考データ】 選考過程 | 書類選考、個人面接（1回）

面接で聞かれたこと | 志望動機、大学での専攻、将来の展望

【在留資格】 技術・人文知識・国際業務